

2011総会の様子



同窓の人情(なさけ)

2012関東支部同窓の集いご案内

「同窓の集い」へのおさそい  
 関東支部の皆さんお元気で過ごしてください。同窓会のご案内の時節となります。今年も多く同窓の皆さまをお迎えしたく、幹事を中心に準備してまいりました。ぜひともご出席頂きませうご案内申し上げます。

今、故郷村上は全国の注目を集めています。地元の方々も、町おこしのために工夫を重ねてきた努力の結果と思われまします。町おこしの中心メンバーが「村上の本物の良さを再発見することに着眼した」と語っていました。これは、鮭やお茶や伝統工芸に代表される村上独自の文化の再発見です。風土に生きる人の生活と結びついた文化への注目だったと思います。その一つは宝永元年(一七〇四年)に作られた村上の古地図です。驚いたのは村上城下の街筋が現在とほとんど同じなのです。町名も多くは同じです。これは、村上の土地を愛した先人たちの残したい、守りたいという強い思いを感じます。本物が残ったのは、単なる偶然ではないはず。もう一つのキーワードは「人情(なさけ)」です。村上の紹介に「鮭・酒・人情、むらかみ」と言うのがあります。最後の人情がポイントです。何が、村上にまた足を運ばせるか、それは、人情という人の力が大きいと思えます。これも、村上の本物再発見の一つでした。

脱線しましたが、同窓会も再発見の場ではないでしょうか。長い間、音信のなかった友人や先輩後輩との再会で旧交を温め、故郷を語り合うことは、単なる懐古以上の発見の喜びがあります。東日本大震災を機に「絆」が注目されました。幸いにも、私たちに、郷土を仲立ちとした眼に見えない絆がすでにあります。この会は、一度途切れたかに見える絆を結びなおす貴重な場になり得ると考えます。故郷との再会に胸ときめかせて総会において下さることを願っております。

会長 佐藤 修平  
 総会担当 中村 勝

新潟県立村上高等学校同窓会関東支部

題字 宮 絢子  
 2012. 5. 15  
 第23号

発行人 佐藤 勝  
 編集 山下 治郎  
 事務局 長谷川康夫  
 神奈川県川崎市 麻生区向原3-5-5  
 ☎044(953)8368  
 ホームページ <http://www.murakou.com/~kanto/index.htm>

- とき 平成二四年六月二三日(土) 正午より受付開始・一時開会
- ところ スクワール麹町 千代田区麹町六一六 ☎〇三(三三三三四)八七三九
- アクセス JR中央線・総武線四谷駅下車 麹町口徒歩二分
- ・地下鉄丸ノ内線・南北線四谷駅
- 会費 八千円
- ・男女とも
- ・平成二〇年から二三年卒四千元
- ・新卒者(二四年卒) 無料
- ※会場準備の都合上、六月三日(日)までに欠のご返事をお願いいたします。

同窓会の伝統の灯を消すな!

同窓の会を考える

関東支部副会長 山本 宏平 (17回)



日頃は会の運営につきましても、ご理解・ご協力を賜りありがとうございます。今年も六月に「同窓の集い」を開催するために準備を進めてきました。会としては一年に一度行う最大の行事です。参加された会員の皆様に「今年も参加して良かった」と言っていたときを過ごせたいよ」と言っていた。たまたま卒業生がバトンを受け継ぎ実行委員の中心となつて頑張つてきました。しかし今年度は佐藤会長を先頭に私達役員一同八方に手を尽くし卒業生による運営が途切れないように努めました。二五回生の名乗りが遅くなり、役員・幹事が主体となり更に過去の実行委員を担った人達が再度結集して、二五回生と共に会を運営することになりました。

これも時代の流れかなと思いつつ「同窓の集い」のあり方を考える時が来ているのかも感じています。担当回生の結集が少ないことは同窓会運営に致命的な事です。このことを直視し栄えある同窓会関東支部の伝統の灯を消さないために知恵を出し合い頑張つて行きたいものです。

(千葉市在住)